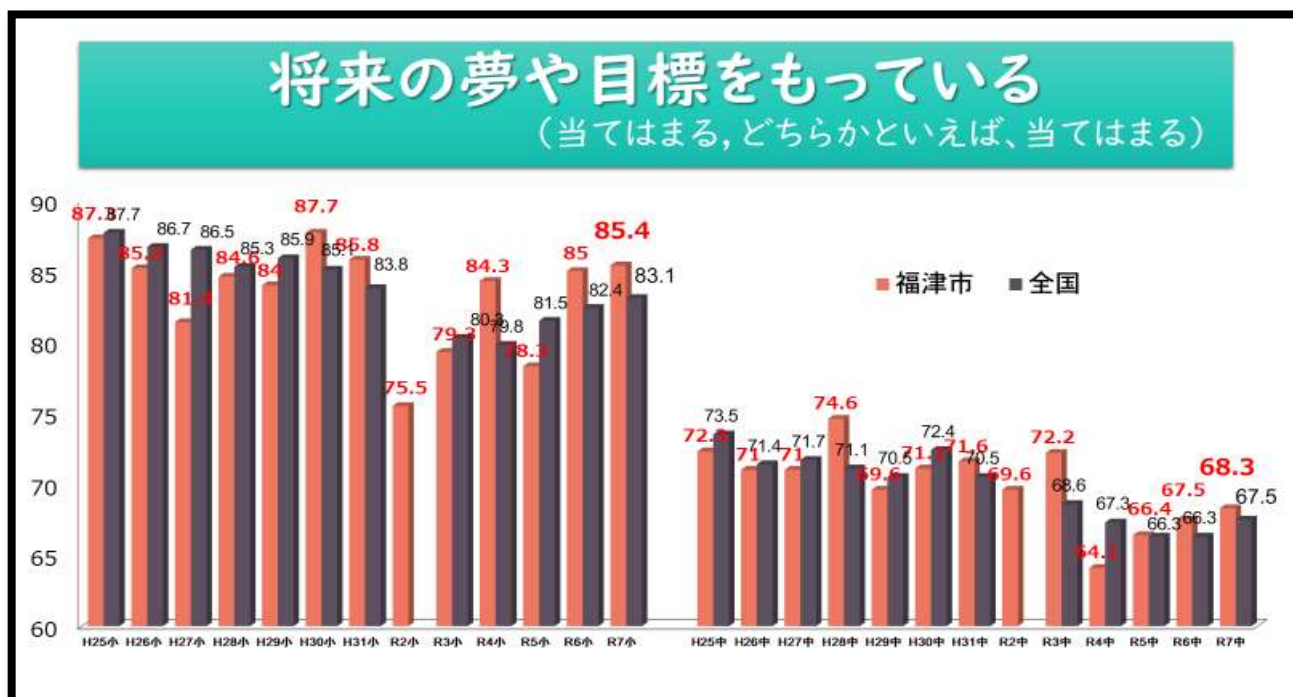
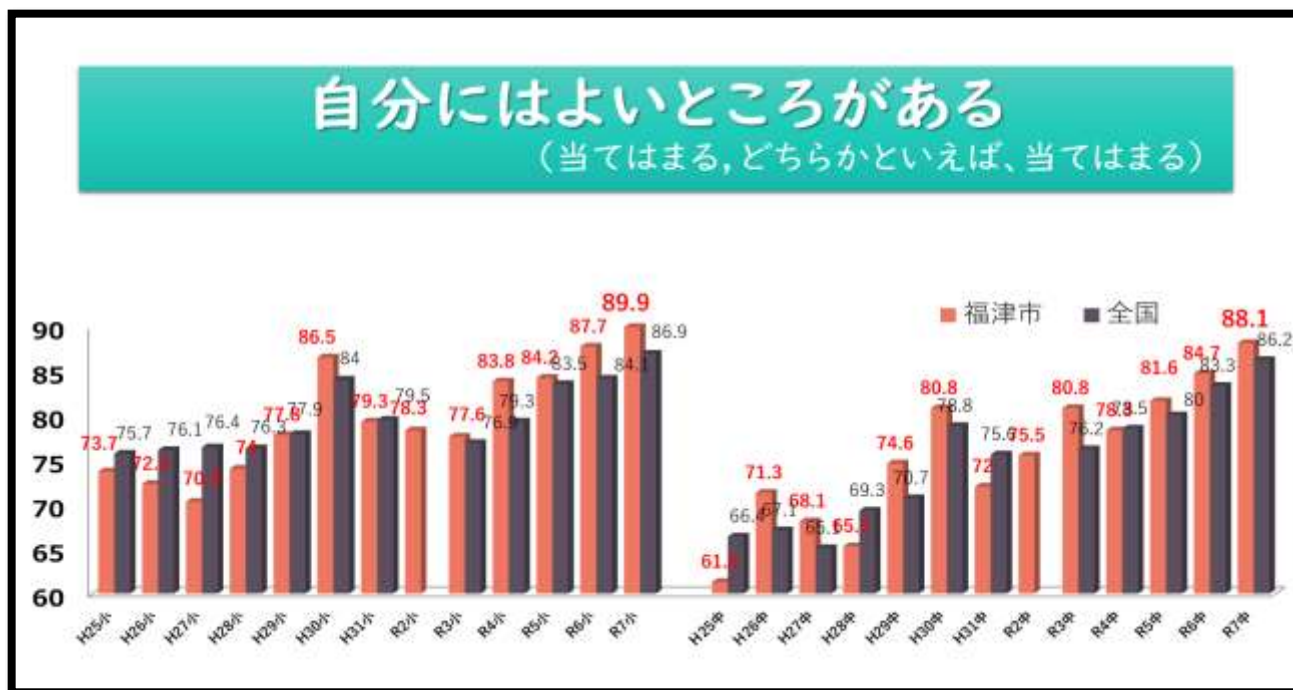


全国学力・学習状況調査における子どもたちの学習状況と成長

令和7年4月に小学6年生、中学3年生の全児童・生徒を対象に行われました、全国学力・学習状況調査の「児童・生徒質問紙」の結果から見てくる福津市の子どもたちの学習状況の結果です。

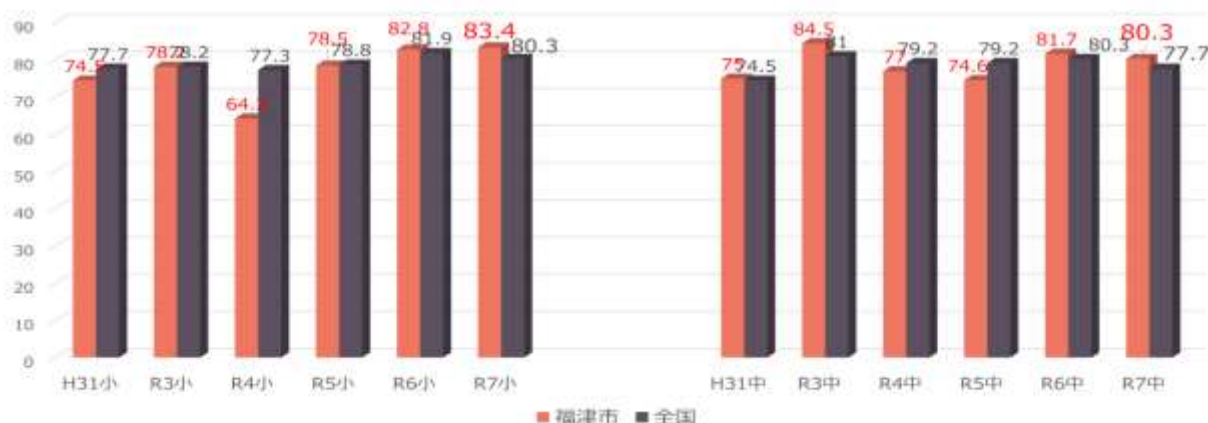
この結果のみですべての子どもたちの学習状況や成長を把握することはできませんが、経年比較により、学習状況を踏まえて教育活動の検証・改善に生かしたいと考えています。

◆「認め合い、鍛え合い、創造する子ども」



5年生（1, 2年生）までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

（当てはまる、どちらかといえば、当てはまる）



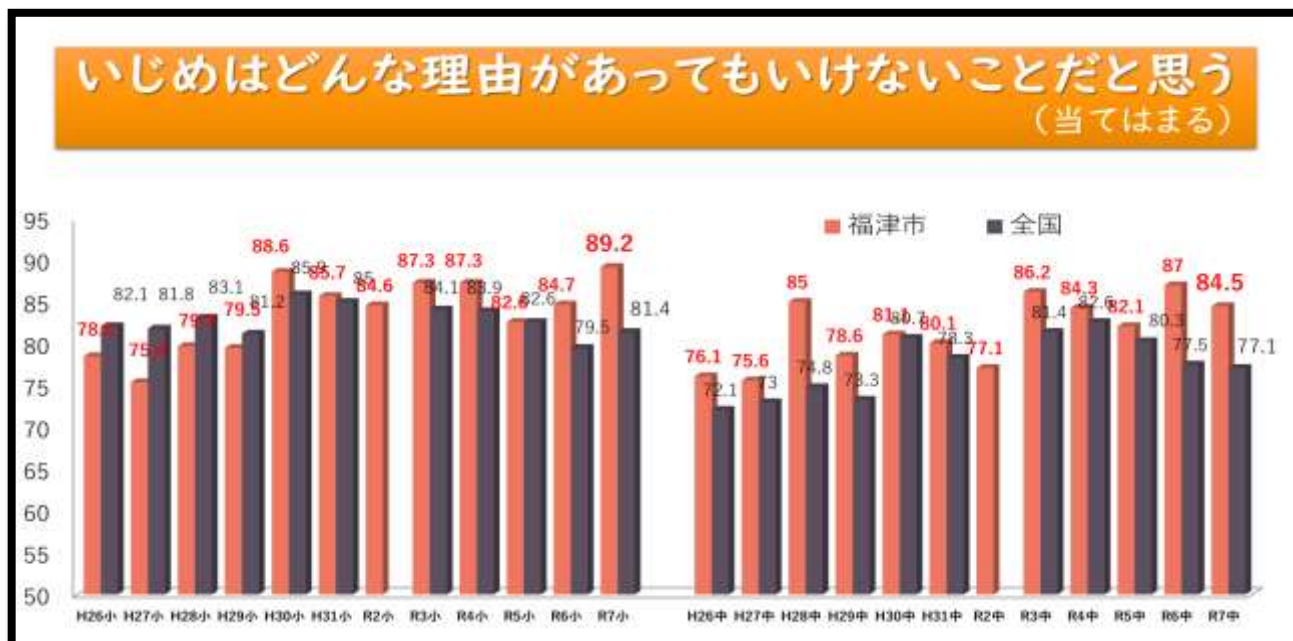
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。

（当てはまる、どちらかといえば、当てはまる）



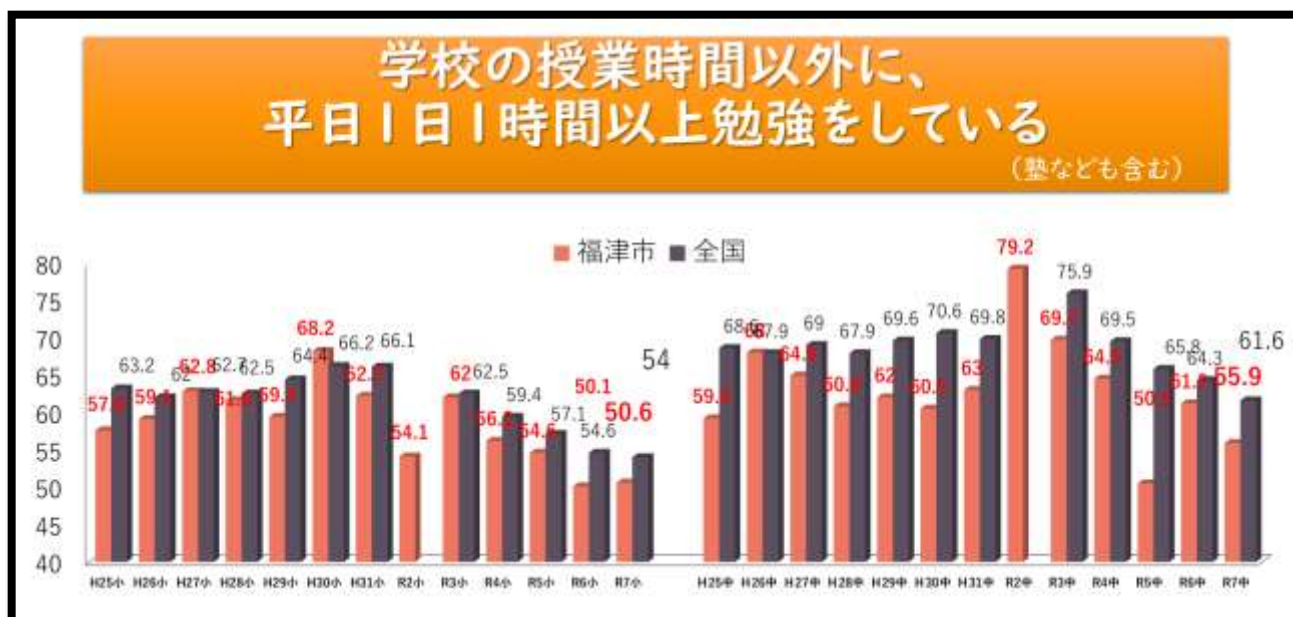
- 「自分にはよいところがある」、「夢や目標をもっている」の項目は、小・中学校ともに全国とほぼ同じ結果となっています。今後も、子どもたちが自分の目指す夢に向かって自己実現できるよう発達支持的生徒指導の充実や、小中9年間を通したキャリア教育の充実等を図っていきます。
- 「5年生（1・2年生）までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の項目では、小学校は全国平均とほぼ同じ、中学校は全国をやや上回っており、年々主体的な学びの高まりが見られます。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている」の項目においても、小・中学校ともに全国平均とほぼ同じ結果となっており、協働的な学びの高まりがうかがえます。各学校で取り組んでいる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を継続しつつ、個別最適な学びの充実に力を入れ、学習者主体の授業づくりに努めていきます。

◆規範意識や社会性を身に付けた子ども



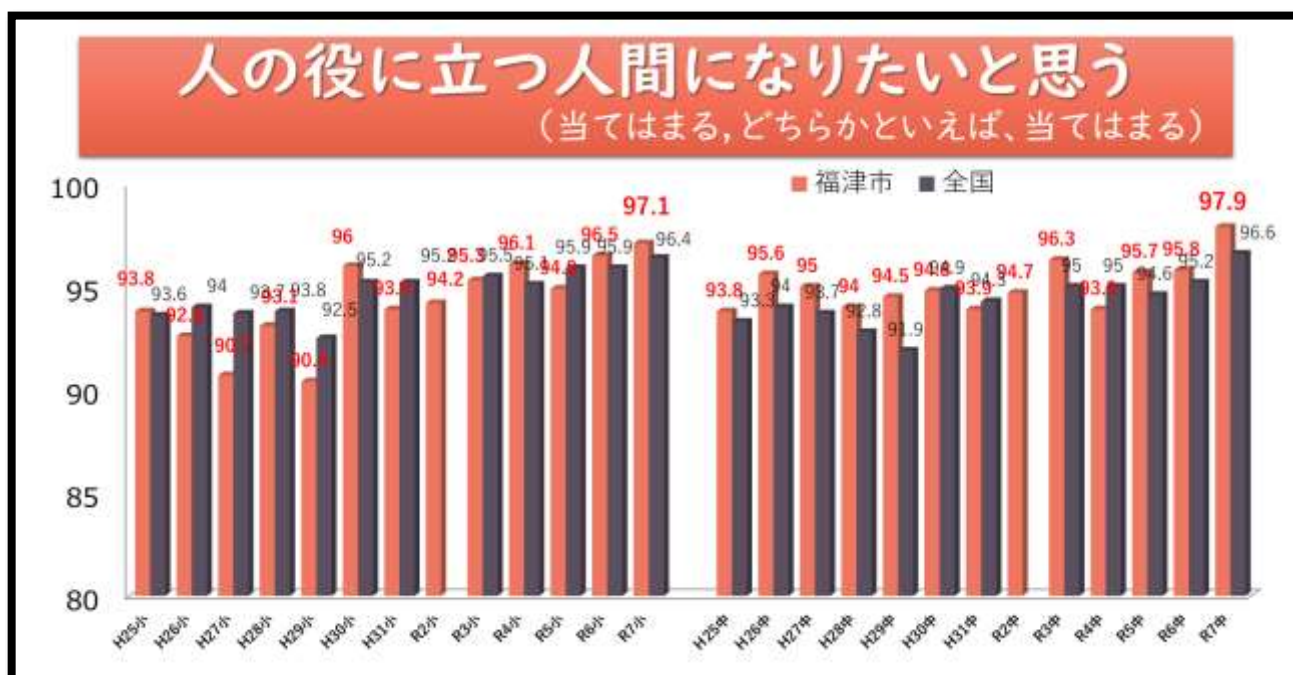
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、小・中学校ともに全国平均をやや上回っており、ほとんどの子どもが「いじめはいけない」と判断していることから規範意識の高まりが見られます。いじめはどんな理由があっても絶対に許されない行為であるという強い認識を全ての子どもがもてるよう、人権教育、道徳教育のより一層の充実を図りながら、全教育活動を通じた指導を継続して行っていきます。同時に、いじめ未然防止に向けた様々な取組も継続して行っていきます。
- 「毎日朝食を食べている」の項目は、小学校は全国平均をやや上回っており、中学校は全国を上回っています。子どもたちの心身の健やかな成長のために、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとし

た規則正しい生活習慣を今後も継続して身に付けさせていくとともに、各学校において食育の推進を今後も図っていきます。



- 規則正しい学習習慣について、「平日１日あたりの家庭学習の時間」の項目では、「１時間以上学習している」割合が、小学校は全国平均とほぼ同じ、中学校は全国平均をやや下回っています。子どもたちがやらされる家庭学習ではなく、意味を感じながら主体的に取り組む家庭学習のために、自分の夢とつなげるキャリア教育の推進や、ICT 機器を活用し自己選択しながら自分の課題を解決するような個に応じた家庭学習等も取り入れていき、家庭・地域と協働した取り組みの充実を図っていきます。

◆福津のよさに学び、貢献する子ども



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う (当てはまる、どちらかといえば、当てはまる)



□ 「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目では、小・中学校ともに全国平均とほぼ同じ結果となっています。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」についても、小・中学校ともに全国平均とほぼ同じとなっており、特に小学校において地域貢献への意識が高まっています。地域COを中心とした地域の大人との関わりの中で学ぶ「ふるさと学習」の充実や、各中学校におけるボランティアなど中学生の他者貢献、地域貢献の姿が、小学生の貢献意識の高まりにつながっていると考えます。今後も、小中9年間の連続したコミュニティ・スクールの取組をさらに新化させ、地域のよさを知り、地域に貢献する喜びや地域の一員として自覚をもって行動する子どもの育成に更に取り組んでいきます。